

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330521130A	幼保エクスターン I Externship Program I	永津利衣・伊藤久美子			1	選択	2前期

**科目の概要**

エクスターン I (幼保) は、幼稚園や保育園に赴き、これまでに学んだ保育に関する知識・技能を活かしながら実際の保育を体験するプログラムである。「保育実習 I」の前に保育現場で観察・参加し、その振り返りの記録を通して実践的に保育について学んでいく。本科目は、建学の精神を基盤に社会人基礎力、PISA型学力を修得し、職場や地域の人々と協働しながら課題を解決していくことができる人材の育成を目指す。また、現代の子育てや教育に関する専門的な知識と技能を身につけ、課題解決に向けて、自立した社会人として自らの可能性を高め、社会に貢献できる人材の育成をめざす (DP①③⑤⑦)。

学修内容	到達目標
① 実習園の教育目標、特色を理解して活動に参加する。 ② 活動を通して実習のイメージを具体化する。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深める。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にする。	① 実習園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。 ② 活動を通して実習のイメージを具体化することができる。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解をすることができる。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	これまで学んだ知識・技能を活かして、積極的に活動や記録に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	相手がわかりやすいように、考えを整理して伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見や思いを受け止めて、自分の考えを捉え直し、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	課題提出の期日を守る等のルール的重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし

**他科目との関連、資格との関連**

「エクスターン I (幼)」は、学科専門科目群の実習領域に据えられており、「保育実習指導」「保育実習」「施設実習」、さらに「教育実習指導 (幼)」「教育実習 (幼)」へと継続するための基礎的な学外実習科目である

学修上の助言	受講生とのルール
実習園に向いての活動のため、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、各園のご協力により受入れていただいていることを念頭におき、途中で投げ出すことがないように、気持ちを引き締めて臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動先でのルールは遵守すること。</li> <li>提出物の期限を必ず守ること。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		90	①	✓	（獲得）実習園の概要を理解し、目標を書くことができる。様式に沿って記録を書くことができる。（10%） （活用）日誌の様式に従って、活動や振り返りを丁寧に記録することができる。（70%） （解決）活動の学び、目指す保育士像、保育実習等に向けての課題等をまとめることができる。（20%）
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
	④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）これまで学んだ知識・技能を活かして、積極的に活動や記録に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （計画力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）相手がわかりやすいように、考えを整理して伝えることができる。 （傾聴力）他者の意見や思いを受け止めて、自分の考えを捉え直し、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）課題提出の期日を守る等のルール的重要性を理解し、遵守することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に積極的に参加することができる。                      活動を通して実習のイメージを具体化し、保育実習等を楽しみにすることができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解を深めることができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して丁寧に修正ができ、保育の魅力、自己課題を具体的にイメージして明確にもつことができる。</p> <p>A(優)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に前向きに参加することができる。                      活動を通して実習のイメージを具体化し、保育実習等の心構えができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題を明確にもつことができる。</p>	<p>B(良)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。                      活動で実習のイメージを具体化できる。                      保育実践、活動記録を通して子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p> <p>C(可)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に最後まで参加することができる。                      活動を通して実習のイメージをもつことができる。                      保育実践、活動記録を通して子どもの姿が捉えられる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して理解ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～4	<p>【学内】「事前オリエンテーション」(伊藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目標、活動準備について理解し、準備をする。</li> </ul> <p>【学外】「現地オリエンテーション」(伊藤・永津)</p>	演習(目標等の添削)グループワーク	・保育現場での実習に向けて準備をすることができる。	(予習)実習園について調べる。 (復習)絵本、手遊びの練習や、日誌の書き方の確認などの準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5～12	<p>【学外】(伊藤・永津)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・幼稚園等の保育現場で、観察・参加などの実習を行う。</li> <li>・日誌を記録し、振り返りをする。</li> </ul>	実習、日誌添削(フィードバック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加実習、観察実習などを行うことができる。</li> <li>・日誌の提出ができる。</li> </ul>	(予習)次の実習に向けて準備をする。 (復習)日誌に記録し、活動・振り返りをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13～15	<p>【学内】(永津)</p> <p>活動の省察と共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返り、学びや気づき、課題等を発表し、共有する。</li> </ul>	演習(振り返りシート等の添削)ディスカッション	・活動を振り返り、シートにまとめる。	(予習)活動を振り返り、省察を行う。 (復習)他者の活動報告からの学びをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522131A	幼保エクスターンⅡ Externship Program Ⅱ	永津利衣・伊藤久美子			1	選択	2後期

## 科目の概要

エクスターンⅡ（幼保）は、幼稚園や保育園に赴き、これまでに学んだ保育に関する知識・技能を活かしながら実際の保育を体験するプログラムである。「保育実習Ⅰ」の前に保育現場で観察・参加し、その振り返りの記録を通して実践的に保育について学んでいく。本科目は、建学の精神を基盤に社会人基礎力、PISA型学力を修得し、職場や地域の人々と協働しながら課題を解決していくことができる人材の育成を目指す。また、現代の子育てや教育に関する専門的な知識と技能を身につけ、課題解決に向けて、自立した社会人として自らの可能性を高め、社会に貢献できる人材の育成をめざす（DP①③⑤⑦）。

学修内容	到達目標
① 実習の教育目標、特色を理解して活動に参加する。 ② 活動を通して実習のイメージを具体化する。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深める。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にする。	① 実習園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。 ② 活動を通して実習のイメージを具体化することができる。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深めることができる。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にすることができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	これまで学んだ知識・技能を活かして、積極的に活動や記録に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	
チームで働く力	発信力	相手がわかりやすいように、考えを整理して伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見や思いを受け止めて、自分の考えを捉え直し、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	課題提出の期日を守る等のルール的重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：なし

## 他科目との関連、資格との関連

「エクスターンⅡ（幼）」は、学科専門科目群の実習領域に据えられており、「保育実習指導」「保育実習」「施設実習」、さらに「教育実習指導（幼）」「教育実習（幼）」へと継続するための基礎的な学外実習科目である

学修上の助言	受講生とのルール
実習園に向いての活動のため、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、実習園のご協力により受入れていただいていることを念頭におき、途中で投げ出すことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動先でのルールは遵守すること。</li> <li>提出物の期限を必ず守ること。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		90	①	✓	（獲得）実習園の概要を理解し、目標を書くことができる。様式に沿って記録を書くことができる。（10%） （活用）日誌の様式に従って、活動や振り返りを丁寧に記録することができる。（70%） （解決）活動の学び、目指す保育士像、保育実習等に向けての課題等をまとめることができる。（20%）
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
	④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）これまで学んだ知識・技能を活かして、積極的に活動や記録に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （計画力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）相手がわかりやすいように、考えを整理して伝えることができる。 （傾聴力）他者の意見や思いを受け止めて、自分の考えを捉え直し、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）課題提出の期日を守る等のルール的重要性を理解し、遵守することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に積極的に参加することができる。                      活動を通して実習のイメージを具体化し、保育実習等を楽しみにすることができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解を深めることができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して丁寧に修正ができ、保育の魅力、自己課題を具体的にイメージして明確にもつことができる。</p> <p>A(優)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に前向きに参加することができる。                      活動を通して実習のイメージを具体化し、保育実習等の心構えができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題を明確にもつことができる。</p>	<p>B(良)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。                      活動を通して実習のイメージを具体化できる。                      保育実践、活動記録を通して子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p> <p>C(可)                      実習園の教育目標、特色を理解して活動に最後まで参加することができる。                      活動を通して実習のイメージをもつことができる。                      保育実践、活動記録を通して子どもの姿が捉えられる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して理解ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～4	<p>【学内】「事前オリエンテーション」(伊藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習内容について理解し、実習目標を立て、活動準備をする。</li> </ul> <p>【学外】「現地オリエンテーション」(伊藤・永津)</p>	演習(目標等の添削)グループワーク	・保育現場での実習に向けて準備をすることができる。	(予習)実習園について調べる。 (復習)絵本、手遊びの練習、日誌の書き方の確認などの準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
5～12	<p>【学外】(伊藤・永津)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・幼稚園等の保育現場で、観察・参加などの実習を行う。</li> <li>・日誌を記録し、振り返りを行う。</li> </ul>	実習 日誌添削(フィードバック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察実習、参加実習などを行うことができる。</li> <li>・活動記録の作成を行い、活動内容を理解し、振り返りを行うことができる。</li> </ul>	(予習)次の活動内容を把握し、実践準備(練習)を行う。 (復習)活動記録の作成を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
13～15	<p>【学内】活動の省察と共有(永津)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返り、学びや気づき、課題等を発表し、共有する。</li> </ul>	演習(振り返りシート等の添削)ディスカッション	・活動を振り返り、シートにまとめる。	(予習)活動を振り返り、省察を行う。 (復習)他者の活動報告からの学びをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力